

令和6年4月26日

広報広聴委員会

阿久根市議会

1 会議名 広報広聴委員会

2 日時

(1) 期日 令和6年4月26日(金)

(2) 開会 午後5時30分

(3) 散会 午後7時13分

3 場所 第2委員会室

4 出席委員

川原 慎一 委員長、高崎 良二 委員、大野 雅子 委員、
川畑 二美 委員、竹原 信一 委員

5 欠席委員

白石 純一 副委員長

6 出席委員外議員

仮屋園 一徳 議員(議長)

7 事務局職員

局長 新塘 浩二、議事係主査 湯田 矢凡、議事係主任 松林 俊介

8 会議に付した事件

議会だより224号について

9 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

川原慎一委員長

ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

○ 議会だより224号について

川原慎一委員長

本日は、議長にも出席していただき、昨日委員会で決定した内容について協議を行います。

それでは、確認のため暫時休憩に入ります。

（休憩 午後5時31分～午後5時31分）

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

まず、本日、議長にも御出席をいただきましたので、議長から、今回の修正の御提案であつたり、これからのことであつたりということも、お話をしたいということですので、議長にお話をいただきたいと思えます。

議長（仮屋園一徳議員）

皆さんこんにちは。

広報広聴委員の方にはですね。

〔竹原信一委員「これは記録じゃないんですね」と呼ぶ〕

川原慎一委員長

記録は入ってます。

〔竹原信一委員「入ってる」と呼ぶ〕

議長（仮屋園一徳議員）

広報広聴委員の方には、今回の議会だよりについては、委員会の委員のメンバーで作ってもらうということで、私も話は聞いておりました。

そういったことに対してはですね、日にち的にも時間的にも、非常に多く費やされたんじゃないかということで、その御苦勞に対して心から感謝を申し上げます。

また、最終的なチェックについてはですね、皆さんが作っていただいたものを、まず最初は事務局で、語句の訂正とか文章としてこのように直したほうがいいんじゃないかというようなことをチェックされた後、この文章の流れというのは人によって、書き方も好き好きと言えおかしいですが、言い回しも違う部分もあるとは思いますが、まず、語句の訂正等についてはもう皆さん、見ていただければ納得されると思えます。

また、その後私がチェックした分についての考え方はですね、討論あるいは一般質問の中で、実際にそういったことを言われてるんですけど、ただ、市民の方に分かりやすく読んでもらうというか、理解してもらうためには、中身を変えるんじゃないかと、言い回しをこうしたほうがより市民の方は分かりやすいんじゃないかということ等も含めて、この部分についてはこういうふうに直してほしいというのと、もう一つは、今後については、やはりこのように直してほしいという、2通りの考え方がありました。

その分についてはですね、この後、私も委員の皆さんに説明したい部分がありますので、その箇所箇所については、このような考え方で直してほしい、あるいは今後はこのようにしてほしいということを、私もその部分部分で言いますので、皆さんの考えもおっしゃっていただければ、そこで話し合いをして、もし納得していただければそのようにしてほしいし、もし納得されない部分については、今後、そういったことも考えてほしいなと思いますし、議会だより全体としてはですね、それもいろんな、人それぞれの考えがあることでしょうけど、ただ、私一人の議長というよりも、1番いいのは、最終的には、議員の皆さんにみんなに見てもらって、ああ、いいのができたねというふうにして出すのが1番理想かなとも思いますけど、完全に完璧にできるということはないと思いますので、その辺も含めて、お互いに妥協点を見つけていければなと思いますので、御協力をよろしくお願いしたいと思います。

また、いろいろ言いたいことがあるときは言ってください。私もそれなりに自分の考えを言いますので、よろしくお願いします。

竹原信一委員

議会の基本条例に書かれていることをまず守らないかんということを考えなければいけません。

そして、私たちは市民に開かれた議会の実現、そして市民、議会への市民参加を推進する。

そのための基本条例であり、私たちの日々の活動でなきゃいけないわけですよ。

そして、この広報というものは、第2条に書かれております、まあ、活動もそうですが、市民に対して分かりやすい言葉を用いた説明に努めること。

そして、この委員会の活動ですね。

第17条に、委員長、委員会審査報告のときは、内容が市民に対して分かりやすい報告となるように努めなければならない。

こういったことはですね、特に、委員長報告において、本会議でもそうですけども、会議録の朗読に終わってしまった。

こういったことをですね、自分たちの言葉に、そして市民の代表としてですよ。

市民から、ちょっとそういう市民の立場でどう考えるかということを中心に置いて対応すべきだというふうに考えております。

そしてまた、議員は一人一人、自分の意見、そして自分たちを支えてくれる人たちを抱えておるわけですから、それを多数決で潰すというようなことがあっちゃいかんわけですよ。

そして一人一人の考え方を表す場というのが、討議であり、討論であり、そして一般質問の場。それを知らされたくないからという感覚でですね、蓋をするというのは決してやっちゃいかんというふうに考えております。

よろしくお願いします。

川原慎一委員長

議長、よろしいですか。

議長（仮屋園一徳議員）

一つだけ言わせてください。

今、言われたようにですね、自分のそれぞれの考えがあります。

ただ、一つの言い方として、やはり、自分がこう考えるわけで、相手は相手でもたどう考えるか分かりますので、その辺はお互いに尊重しながら、相手を否定するんじゃなくて尊重しながら、話し合いをしていけばいいんじゃないかと思います。

竹原信一委員

それをそれぞれ表す場が議会本番であり、そして市議会だよりなんですよね。両方に蓋をしちゃいけないという考え方を持っていただきたいと思います。よろしくお願いします。

川原慎一委員長

それでよろしいでしょうか。

それでは、今回修正を行う箇所のみを確認してまいりたいと思います。

まず表紙から、議長からの提案では、令和6年度予算過去最高額で可決ということで昨日の委員会では、令和は入れないでということでした。

ここについて議長は

[竹原信一委員「どんどん行ってしまっって議長からのあれが」と呼ぶ]

竹原信一委員

どんどん進めていって、これいかんというのは、その議論の論点があるならば、話をするといいんじゃないですか。

議長（仮屋園一徳議員）

ここの今の。

[竹原信一委員「昨日のやつは、昨日までは」と呼ぶ]

いいですか。今ここ言われた部分についてはですね、令和を入れたほうが分かりやすいんじゃないかという提案をして、どうしてもこれでないといけないという考えはしてません。

また、この過去最高……。

川原慎一委員長

史上です。

議長（仮屋園一徳議員）

史上最高だったのが過去最高。言い方としては過去最高のほうがいいんじゃないかなと私は思って、これは了解しました。

[竹原信一委員「はい」と呼ぶ]

川原慎一委員長

それでは、委員会では令和を取ってということでした。

今、ただいま議長から令和を入れたほうが分かりやすいんじゃないかということの御説明の中でありました。

ここについて、決をとっていきたいと思います。

令和6年度過去最高額で可決がいいのか、それともただ6年度予算過去最高額がいいのか、2ページのは、令和6年度一般会計当初予算を可決史上というのは、令和入っておりますので、そこも含めて考えていただきたいと思います。

それではお諮りします。

昨日の委員会案がいいと思われる方は挙手をお願いします。

[賛成者挙手]

挙手多数で、6年度予算過去最高額で可決にいたします。

それでは2ページの3行目。前年度比は金額の後に増の字を入れることになっております。

10億9000やったけ。

〔「10億2000万円です」と呼ぶ者あり〕

10億2000万増8.6%。これは、議長の御指示のとおりじゃなかったけ。

議長（仮屋園一徳議員）

私はこの10億2000万円、8.6%については、この8.6%の後に増を入れたほうがいいんじゃないですかという提案をしました。

川原慎一委員長

申し訳ございません。

議長（仮屋園一徳議員）

ここには書いてないですね。

〔発言する者あり〕

どっちでもいいですよ。

〔発言する者あり〕

入れてあればいい。

どこでもいいから入れてあればそれでいいですよ。

川原慎一委員長

議長としてはよろしいということで。

議長（仮屋園一徳議員）

はい、いいです。

川原慎一委員長

それでは10億2000万円増ということで、入れていくということで進めてまいります。

次がその6行下の令和5年度一般会計補正8号、専決処分のところ、承認ということで、委員会では入れるようになりましたが、議長、ここはそれでよろしいでしょうか。

議長（仮屋園一徳議員）

はい、大丈夫です。

川原慎一委員長

ありがとうございます。

それでは、2ページについては、これでまいります。

次、3ページです。

委員会のほうでは、課設置条例の右側の修正可決、この文字、当初、議長からは赤で強調をしていたんですが、これを解除したほうがいいのではないかと御提案でございましたが、委員会では修正可決はそのまま、修正可決のところと、農政課から農政林務課に変わったところ、これを同じ色に変更するのがいいのではないかと話し合われたのですが、ここについて、いかがでしょうか。

委員会はまだ多分これでいいんですよ。

〔竹原信一委員「私らはもうそれで決めたわけです」と呼ぶ〕

議長（仮屋園一徳議員）

私は初めてこう見たんですけど、この上の課設置条例の修正可決、この部分について

の赤の部分については納得しますけど、下のほうの農政林務課を、農政課に朱書きというのについては、ちょっとこれは分かりにくいんじゃないかと思います。

ほかのところは変わってないみたいな感じになるので、市民が見たときに、ここは必要ないんじゃないかと。

〔竹原信一委員「そういう見方もできますけども」と呼ぶ〕

ここは一緒でいい。

川原慎一委員長

委員会では、結局修正案が、この農政課から農政林務課の部分を修正案として出しているので、要はこの修正案は、農政課と農政林務課、農政課から農政林務課についていう修正案だったので、ここの色を統一しようかという話合いになったところでした。

今議長がおっしゃいました、修正可決に対しての色の変更はいいと思うが、農政課から農政林務課の部分まで色を変えるとほかのも変わってるものだから、そこに関して色を変えないでもいいんじゃないかという御意見でございましたが、ここに対していかがでしょうか。

竹原信一委員

そういう考え方もあるかと思いますが、折衷という言い方、修正という。

議長（仮屋園一徳議員）

もう修正と上に書いてあるから

竹原信一委員

修正という文字が、言葉がですよ、農政林務課、農政課、そこが修正なんですよ。

修正したのは、議会が。何だったら修正という言葉の部分と同じ色に農政林務課、農政課のところを変えるというやり方でもよろしいかと思いますが、修正を大事にしたということだったんです。

川原慎一委員長

暫時休憩します。

（休憩 午後5時47分～午後6時5分）

川原慎一委員長

それでは休憩前に引き続き、委員会を再開します。。

先ほどの5ページの4番目、水産業水揚効率化推進機器購入については原案のとおり、そして、6段目のただいま話し合いました、水道事業会計については、最後の写真の部分に上のスタンプを持ってきて、1番最後の答えのところは、建設改良費の積立てが8億円あるが、総額は示せないに変更でよろしいでしょうか。

竹原信一委員

それぐらいでいいし、文字がもっと入るようであれば、両方のやつをもっと広く増やして。

川原慎一委員長

ああ、そこをですね。

そこ、一任いただきます、じゃあ。

竹原信一委員

はい、いいですよ。

はい、なるべく両方入れてしまうようにやってもらえれば。

川原慎一委員長

スタンプが上に上がりますが、下の令和5年度一般会計補正予算、W i - F i スポットの右ですね、これを上に上げます。字が入るように調整していきます。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

その次でございますが、一般会計補正予算について。

1番下ですね、小学校校舎等整備についてです。

議長からは、まず問い、小中学校校舎のアスベスト把握はしていないのかについて、アスベストが見つかったから工事がずれ込むと説明されたが、校舎に含まれているか把握していなかったのかに変更したほうがいいのか、ということでありましたが、これはそのまま、委員会では、小中学校校舎のアスベスト把握はしていないのかでいいのか、ということでございました。

ここを、議長案に変えてもゆっくり入るということですね、スタンプが上に上がるので。

議長(仮屋園一徳議員)

意味が分かれば、この枠の範囲内で説明したらそれでいいと思います。

全部入れなくてもね。

竹原信一委員

この元のやつで質問と答えもあってるし。

議長(仮屋園一徳議員)

それは今言いました。

竹原信一委員

詳しく説明入れなくてもいいよ。ここまでね。

川原慎一委員長

それでは、体裁っていうか、あれについてこちらのほうで調整するというところでよろしいでしょうか。

小中学校校舎アスベスト把握はしていないのか。答えが、市内の全小中学校について調査を行っていないという、このやりとりのそのままですね、でよろしいでしょうか。

申し訳ございません。

3ページの課設置条例のところも、休憩中に進んでしまっていました。3ページの課設置条例については、修正可決の文字をとり、農政課から農政林務課のところ修正という文字を入れて、ここだけが修正で、修正案として可決されてますよというような分かりやすいことにすることで決定いたしましたので、そういたします。

次、5ページ終わりましたので、次は8ページですね。

8ページの討論。

令和5年度一般会計補正予算の専決処分における竹原議員の討論についてでございます。議長から、最後の部分、阿久根市は道の駅だの、オートキャンプ場などにうつつを抜かしている場合ではないということで、ここをカットしたほうがいいのか。議長からは、賛成討論なのに、最後のほうで反対的な内容だから、ちょっと分かりにくくなるのではないかということでの提案でございましたが、昨日の委員会では、竹原委員からは、

このまま言ってほしいということでありました。

議長(仮屋園一徳議員)

このようにですね、議会では言っではいるんですが、この言い方として、もし入れるのであれば、言い方として、ほかの予算に使うよりもとか、こう限定しないで、強調するんだっただけですよ、そういった文言を変えたほうがいいんじゃないかと思います。何とかというと、私がどうこうじゃなくて、せっかく賛成討論なのに、市民から見て完全にこれは賛成討論じゃなくて否定するような言い方が最後に出てきてるので、あんまり、適切じゃないんじゃないかなと思います。

竹原信一委員

本会議で、しっかりこのまんま言ったことをですね、あえて言い方を柔らかく変えるべきだっていうのちょっとそれはもうよくないですよ。

そんなことしちやいけないと思う。

議長(仮屋園一徳議員)

柔らかい言い方という言い方がちょっとまずかったかもしれませんが、ここの一般会計補正予算の中で言う項目と、最後に言っている、言えば、道の駅だのキャンプ場などについてのあれが、おかしいんじゃないかなと思うんです。

ここで言うべき語句じゃないかな。

[発言する者あり]

川原慎一委員長

ほかの御意見として、今議長から分かりにくくなるという御意見ございました。

昨日もそういうことで。

議長(仮屋園一徳議員)

分かりにくいというよりもですね、やはり賛成討論だったら賛成討論らしく終わったほうが、市民から、見るほうからすれば、賛成討論だと分かるだけけど。

竹原信一委員

そういう感じは分からないでもないですよ。

しかしですね、私のここの意図というのは大事なことは、今まで5年度でもあるけれども、それを先に向けての発言をせないかんといいふうに、表明しないかんといいふうに考えとったわけで、そこで言っているのは、もっと厳しくなっていくんだから、敏感にしてほしいということを強調する意味で、これをわざわざ入れたわけです。

川原慎一委員長

お二人の御意見、もう平行線というか、ですので、もうここ、決をとらせていただいてよろしいですか。

議長(仮屋園一徳議員)

一般会計補正予算の内容として。

大野雅子委員

ここは確か、給付金の取扱いが早くできたからよかったっていうことを、専決処分の承認のところで、給付金の取扱いが早く今回できたのでよかったということで、承認ということだったと思うんですけど、キャンプ場のことは関係ないので、もう省いてもいいかなと私は思います。

竹原信一委員

それはですよ、議会で発言すべきじゃないっていうのと一緒ですよ、ね。

そしたらその本会議で言わないかん話で、ね。

これちゃんと会議録も残ってる、ね、どこにも行け。これをわざわざここで消される理由が、よくないと思いますよ。

本当はもっと審議、全部を皆さんに知ってもらいたい聞いてもらいたいといふとこなんですよ。

その思いで私はわざわざ発言させていただいたわけですよ。

これをこの人は受け止めてもらいたいと思っるところですよ。

議長(仮屋園一徳議員)

何か最後ですよ、キャンプ場など、このうつつを抜かしてとか、これは確かに言っているんだけど、こういうのを議会だよりの中で、このようなことをば、文書に出すこと自体がやっぱり議員のモラルとしておかしいんじゃないかと私は思うんですが。

その辺はちょっと。

竹原信一委員

このモラルを問われるのは私でございます。

恐らく、こういう発言をする人間、それは、あえて受け止めるつもりでございます。

川原慎一委員長

暫時休憩入ります。

(休憩 午後6時16分～午後6時18分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。。

今、議長から、うつつを抜かすというこの言葉がよくないということでの御意見がございまして、そこを竹原委員から、阿久根市は道の駅だのオートキャンプ場などに浪費をしている場合ではない。

[発言する者あり]

それでは、最後の、令和5年度一般会計補正予算専決処分の承認、竹原議員のところの最後の4行のところを、阿久根市は道の駅だのではなく、道の駅やオートキャンプ場などに浪費をしている場合ではないに変えます。

次です。

次は、9ページ3段目から4段目にかけての教育長任命における白石議員の討論についてでございます。

箇条書きになってる部分でございます。

ここに対して、議長からは、ほかの討論の議員の書いてるところはこういったことはないので、そこはもう点をつけずに、つないだ形のほうがよろしいのではないかと御提案がございましたが、昨日の委員会のほうではそのままいくということになっております。

ここ議長何か、補足があれば。

議長(仮屋園一徳議員)

点だけ外しても特に問題はないと思うな。

1つの段を下げると。

川原慎一委員長

ちょっとお待ちください。

よろしいですか。

点を外しても問題はないのではないかと、今、議長からのお話でございましたが、大野委員、それを受けてでしょうか。

大野雅子委員

はい、昨日白石議員は、この3点のことを言いたいと僕は。3点のことを言うために、1点目がこの学校規模の検討というところと、2点目が提言を取りまとめた協議会にというところ、3点目が既定の総合教育会議が開かれなかった。

この3点を強調したために、わざわざ点をつけているんだという発言をされたと思うんですが、それで見やすくなる、見る人にとっては読みやすくなるのではないかと、私たちが委員会は認めたところでした。

議長(仮屋園一徳議員)

そこを、点を抜いて上に上げれば問題だけど、そこは一つ下げてるんだったら、後のこと、給食費とか小学校トイレと同じようになるから、そのままですればそのほうが強調してみえると思うけどな。

そうだったら後ろのほうにも点々って入れるか。

川原慎一委員長

入れてやったほうがいいのではないかとということ。

議長(仮屋園一徳議員)

1段下げることで強調されると思うんだけどな。

下げるわけだから。

[大野雅子委員「この後ろの」と呼ぶ]

川原慎一委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後6時23分～午後6時27分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。。

ただいまございました9ページ3段目から4段目にかけての教育長任命に関しては、原案のとおり、カンマを入れていくということで行います。

次が、12ページの牟田議員の一般質問におけるところです。

市長答弁のところです。

3段目の市長答弁、ひきこもりの方の人数は把握できないところ。議長からの提案、それを受けて、委員会では、把握できないところを入れるのであれば、ひきこもりに関するというのは外していいのではないかと。重なるから、もうここは外していいのではないかと、ということでございました。

ここに関しては、議長、同じ言葉が、文言が続くのでひきこもりに関するを消したということなんです。

議長(仮屋園一徳議員)

内容が、同じような内容であれば、もうそれでいいと思います。

川原慎一委員長

それでは、昨日の委員会で決まったとおりにするということで、まいります。

次が、同じページの6段目。

白石議員の一般質問です。

1番下ですね。6段目の、タイトルです。原発へのミサイル旅客機、ちょっとお待ちくださいね。

議長からは、原発へのミサイル旅客機衝突は想定外に市長の懸念はということでございましたが、委員会では、原発への、これは採用いたしまして、原発へのミサイル旅客機などじゃなかった。

[松林議事係主任「それを戻されましたよね、最後の最後で」と呼ぶ]
などは入れなかったっけ。

[松林議事係主任「最初はそのミサイルなどでまとめて、最後に戻されてます」と呼ぶ]

ごめんなさい。

原発へのミサイル旅客機衝突は想定外。

[竹原信一委員「の衝突外は」と呼ぶ]

違うねこれ、日本語になってないもんね。

[竹原信一委員「おかしいな」と呼ぶ]

じゃんかったせんか。へのへのがなるからって言って、そこをちょっと外したんですけど、議長がおっしゃったのは。

議長(仮屋園一徳議員)

うちはここは質問の方は何も言ってないんだけど、ただ、市長の答弁のほうで、正直何とも言えない。現実的にはどう答えていいか分からないだから答えていいか分からないとは言っていない。

川原慎一委員長

いや、それは言ってます。

議長(仮屋園一徳議員)

答えていいか分からない。

それならいい。

川原慎一委員長

なので、原発へのミサイル・旅客機衝突想定外の懸念はだったと思うんですよね。

議長(仮屋園一徳議員)

何か直したけ、そこは。

川原慎一委員長

想定外に懸念って。日本語やんかよ。

暫時休憩します。

(休憩 午後6時32分～午後6時34分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。。

白石議員の一般質問の6段目のタイトルは原発へのミサイル旅客機衝突想定外に懸念は、に変更いたします。

次、13ページ、竹之内議員です。

議長(仮屋園一徳議員)

今のところの最後のところ、そんなに、分からないって言うてるけ。

答えようがない。

[竹原信一委員「答弁の中身」と呼ぶ]

いやそれ言ってれば、別に構わない。

[発言する者あり]

どう答えていいか分からない。

どう答えていいか分からない。やっぱりだな。

川原慎一委員長

よろしいですね。

それでは、13ページ、3段目、竹之内議員の一般質問のひきこもりに関する質問のうち、2問目の福祉課長答弁のところでは、

最後ですね。

ひきこもりの相談窓口が分かりにくいのが、竹之内議員の質問に対して、委員会では、窓口は、を追加して、議長からは、福祉課であるが、広報紙のっていうことでもございましたが、委員会では、窓口は福祉課であるがに変更でございました。

相談窓口が分かりにくいけど、ということの質問に対して、ただ福祉課であるかということだとちょっと分かりにくいんじゃないかということ、委員会では窓口も入れたほうがいいんじゃないかということ、窓口は福祉課であるがということに変更。

よろしいでしょうか。

議長(仮屋園一徳議員)

その前は福祉課が入ってなかったもんですから。

川原慎一委員長

それを入れていただいて。

議長(仮屋園一徳議員)

今言われたようになれば、1番いいです、そのほうが。

川原慎一委員長

それでは、窓口は福祉課であるがに変更します。

それでは、次です。

高崎委員の、これは議長からではございません。

高崎議員の問いで、新規就労支援「は」を入れたほうがいいのではないかとということでもございましたが、昨日、言っているですけ。

高崎議員に御確認をしたところ、もう「は」は入れなくてもいいのではないかとということでもございました。

よろしいですか。

[発言する者あり]

委員会中ですよ。委員会中ですよ。

竹原信一委員

この新規就労支援のところは、質問という、質問と答えというのは「は」を入れたほうが質問、新規就労支援は、それで答えが、市長が対策を進めたい、こういうふうの流れが来るので、まだいいんじゃないかということなんですけども、高崎委員はどう感じますか。

高崎良二委員

今言われればそんな気がするんですが。その前にこの……。

川原慎一委員長

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後6時38分～午後6時40分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

高崎委員の問いのところの新規就労支援は、はもうそのまま新規就労支援に決まりました。

次が、14ページ2段目、大田議員の一般質問の有害鳥獣対策の問いについてでございます。

これは、議長から、必要性についてはいかがかを、どのように考えているか。

当委員会もそれでいいのではないかということになりましたが、昨日、大田議員にこれを確認していただいたところ、どう考えているかに変更してほしいんだがってということが大田議員からございましたので、そこをお考えいただきたいと思います。

本人がそう言ってるんですけど。

竹原信一委員

それでもいいんじゃないですかね。

川原慎一委員長

本人が言った「ように」が削られるということです。

あと、うちはどけあつとけ。書いとらんね。

暫時休憩しますね。

(休憩 午後6時41分～午後6時45分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

まず1段目、大田議員の質問のところの、図書館で1年間に購入する図書の総額は幾らか。

うち、市内業者から購入しているものは何割かに変更。

3段目のタイトル。空き家対策に対する市長答弁の終わった後に1行空けて原子力防災訓練を追加して、大田議員の質問の本市での毎年度地区を変えての部分的な訓練で大丈夫かっていう、タイトルを足します。

申し訳ございません。

次が16ページ、3段目。

竹原議員の一般質問についてでございます。

議長（仮屋園一徳議員）

二つだけなんですけど、このところで、裏で手を結んで、ことごとく賛成してというのは確かに言っているんですけど、ここについては、確定したことじゃないので、こういう書き方をしないほうがいいと思うのと、一般質問の一つもしない議員がいたりとか、この言い方じゃなくて、何でかというのと、一般質問については、私は一つもしないのがおかしいとは思いますが、本人はそんなに思っていないということで言い方次第だと思うんですよ。

〔竹原信一委員「さあどうしましょう」と呼ぶ〕

もし入れるんだったら、言い方は、私はこう思うんだがという言い方にしないと、ちょっとおかしいんじゃないかと、ちょっと二つだけそこで提案します。

川原慎一委員長

ただいま議長からの御発言がございました。
暫時休憩入ります。

（休憩 午後 6 時47分～午後 6 時53分）

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。。

3 段目の竹原議員の発言のところですが、議案にはことごとく賛成し、一般質問を一つもしない議員がいます、に変更でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

議長よろしいですね。

議長（仮屋園一徳議員）

完全じゃないけど、この辺で。

〔発言する者あり〕

それでは、大野議員です。

まずですね、大見出しの問いです。

自主防災組織に求める活動は、「は」を入れることにいたしました。

一応12文字を委員としてはお願いをしてあるので、たった1文字ですけど、ここは委員としては、やはり、守ったいいのかなというふうには、私は今思っているところですが、ここに関して、皆さん方の御意見をもう1回頂きたいと思えます。

竹原信一委員

そこ厳密じゃなくて入れていいんじゃないですかね。

例えばこの行数、タイトルが自主防災訓練って、組織って大体長いんですよ。

こういうのを、これを圧縮する方法があれば、防災、自主を消してもいいし、どっちかっていうと、意味合いからいうと、入れたほうがいい感じがしますよ。

防災組織に自主防災。入れましょうよこれも。

川原慎一委員長

よろしいですか。

ここに関しては、それでは、委員がやってることなので、私のほうで、全員に流すときに、ここに対してはちょっと、お話しはっていうか、こういうことになってることに対しての話は入れます。

〔発言する者あり〕

大野雅子委員

もう規則にのっとったと言われるらしたら、私は「は」は抜いても構いません。
これで分かるようでしたら。

川原慎一委員長

最初は活動だったんですよね。

大野雅子委員

でした。

川原慎一委員長

ここどうですか。

高崎良二委員

やっぱり委員会ばかり特別扱ってというのは、やっぱりよくないと思うんですよね。
規則あるなら、委員会がちゃんと守らないと。
このほかの方が、自分のもいいんじゃないかということにもなりかねないので、やっぱりそこはちょっと守ったほうがいいと思います。

川畑二美委員

私も一応、大野議員が、あの外していいっていうことですので、外したほうがいいと思います。

竹原信一委員

多分このところ、自主防災組織に求めると、に求めるとかいう言葉辺りをね、いじればできそうな気がするんですよね。
例えば自主防災組織への期待はっていう表現にすると。

川原慎一委員長

そこは言っていないので変えましょうということで、だから、もうこれが苦肉の策でここにしてみたい。

竹原信一委員

私たちがさ、何だっけ、研修を受けたじゃない。
これ、圧縮する工夫、そういう何だっけ、能力を身につけましょうというね、研修会だったんですよね。
まさにそういうところだと思うんですよ。
同じく、1番こだわってる、同じ言葉を使わなきゃいけないというこだわりはもうはずさないこれ対応できていかないと思いますよ。
ここは、今のところはもうしょうがないかなと、外してもいいですよ。しょうがない。
今後は変えましょう、そのやり方を。

川原慎一委員長

自主防災組織に求める活動に、原案は変えて変更、下、答えですね、当初は災害による被害防止軽減でございました。
昨日の委員会で、災害による被害の防止、点、軽減に変更ということだったんですけど

これもオーバーなんです。

災害による被害防止軽減活動……

〔竹原信一委員「によるを消せばいいじゃん、災害被害防止の軽減」と呼ぶ〕

〔大野雅子委員「災害を消すかな」と呼ぶ〕

暫時休憩に入りますね。

(休憩 午後6時58分～午後7時1分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。。

それでは、答えのほう、被害の防止軽減に変更いたします。

次、17ページの議員と語る会です。

ここに関しましては、議長の御提案に関しましては、全部受け入れた形になりました。

写真のキャプションについて変更するということになりまして、もともとはそれぞれの会場の様子だけでしたが、脇本と風テラスについては変更がございました。

まず、脇本地区公民館ですが、女性の参加者も多かった脇本地区公民館にキャプションを変更、風テラスについては、若い人の発言もあった風テラスあくねに変更です。

暫時休憩します。

(休憩 午後7時3分～午後7時9分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。。

17ページの写真のキャプションについての変更でございます。

脇本地区公民館の様子を、女性の発言も多かった脇本地区公民館、風テラスの様子のところは、若い人の発言もあった風テラスあくね。

大川小学校講堂の様子は、活発な意見が出た大川小学校講堂に変更いたします。

1、2、3段目の暮らしの困り事等のところで、脇本から、医療センターへは、「は」を入れることになっておりました。

タクシーチケット1回の1回は消すということでございます。

17ページについてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

以上、今ございましたとおりでございます。

今回は確認をしながら、ページごとに決議してまいりましたが御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

決まったとおりで、御確認はもうよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

後から言わないでください。

暫時休憩に入ります。

(休憩 午後7時11分～午後7時12分)

川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

先ほどの17ページの議員と語る会についての風テラスあくねの様子ところで、若い人の発言もあった風テラスあくねで皆さん方御異議ないということでしたが、今、事務局のほうから、若い人がいいのか、若い方がいいのかというところは調べて決めたいということですので、ここは委員長に御一任いただくということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、御異議なしと認めそのように決しました。

これをもって修正を行いたいと思います。

今後、委員外議員からの意見等を受けて、調整、また気づいた修正等を反映し、校了することについて、委員長に御一任をお願いしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で本日の広報広聴委員会を散会いたします。

(散会 午後7時13分)

広報広聴委員会委員長 川 原 慎 一